

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	安曇野市役所					
代表者名	氏名	宮澤 宗弘	役職名	市長		
主たる事務所の所在地	安曇野市豊科6000番地					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	9 8 地方公務				
主たる事業の概要	市行政機関					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	7239	7024	7170	6910	6738
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	15546	15084	15384	14766	14380
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	288	288	288	282	272
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	653	634	522	464	463

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.city.azumino.nagano.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

市は、自らが大規模な消費者・事業者であることを認識し、市が実施する全ての事務・事業に対し、地球温暖化防止に向けた取組みを率先して行うことにより、温室効果ガスの排出を抑制し、地域の模範となるよう努める。

取り組みとしては、省エネルギーの推進、公共工事等における環境負荷の低減、職員の環境保全率先行動等を実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

平成27年度導入のエコアクション21の運用によりPDCAを行い、必要に応じ部長会議による意見交換を行う。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	15,546	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	15,460	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	15,084	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	2.97	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	<p>年1%以上の排出抑制を目標とする。</p> <p>平成29年度報告時追記：温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ値において一部延床面積の桁が間違っていたため修正。なお、目標削減率は変更なし</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	15,384	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	15,277	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	1.04	%	削減率		%		-2.5
排出量等の増減理由	平成28年度途中供用開始施設の通年稼働に伴う増加、有機質肥料製造施設におけるブロー稼働における一律温度管理による増加。その他の公衆浴場施設の廃止に伴う減少							
第二年度	排出量	14,766	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	14,683	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	5.01	%	削減率		%		1.9
排出量等の増減理由	暖冬等の外的要因のほか、本庁舎の空調システムの運用方法を改善したことにより電気・灯油使用量が減少した。また、低燃費の軽貨物車、ハイブリッド車の導入によりガソリン・軽油使用量が減少した。また、一部の施設では、改修中の施設の供用開始により灯油使用量が増加した。							
第三年度	排出量	14,380	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	14,276	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	7.50	%	削減率		%		0.3
目標の達成状況及び排出量の増減理由	暖冬や新型コロナウイルスなどの外的要因のほか、施設・設備の更新により、電気・灯油使用量が減少した。また、公用車の削減や低燃費車の導入によりガソリン・軽油使用量が減少した。一部の施設では、施設の更新による床面積の増加や改修中の施設の再供用により電気使用量や灯油使用量が増加した。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	653	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	634	t-CO ₂	削減率	2.9	%
31年度						
目標設定に関する説明	年1%以上の排出抑制を目標とする。					
第一年度	排出量	522	t-CO ₂	削減率	20.06	%
29年度						
排出量等の増減理由	公用車入れ替えによるガソリン、軽油使用量の減少					
第二年度	排出量	464	t-CO ₂	削減率	28.94	%
30年度						
排出量等の増減理由	公用車入れ替えによるガソリン、軽油使用量の減少					
第三年度	排出量	463	t-CO ₂	削減率	29.09	%
31年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	公用車入れ替えによるガソリン、軽油使用量の減少					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済	第一年度	実施済	実施済	実施済	
	2	エコドライブの励行	実施済	第一年度	実施済	実施済	実施済	
III、IV	—	次世代自動車の導入	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施中	

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110101 推進体制の整備	29~30		29~31	
2	エネ起	130101 設定温度、除湿の適正化	29~31		29~31	
3	エネ起	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策	29~31		29~31	
4	エネ起	150204 適正照度の管理	29~31		29~31	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	244	0	244	244	235
バイオマス	kW					243

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	86		107	83	104
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	225	15,546	219	15,384	223	14,766	220	14,380
合計	225	15,546	219	15,384	223	14,766	220	14,380

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	7	7	10	9
合計	8	8	11	10
自動車総数	288	288	282	272
次世代車導入割合	2.8	2.8	3.9	3.7

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	事業者向け省エネ対策講演会の開催

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	年2回「ノーマイカー通勤ウィーク」を実施 私用車の駐車場を有料とする等のディスインセンティブの設定
公共交通機関の利用促進	デマンド交通「あづみん」の運行
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	庁舎間メール便の効率化

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコアクション21	平成27年度
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	市施設へ「緑のカーテン」の設置の推進。環境イベント「安曇野環境フェア」の開催。一斉定時退庁日（水曜日）の実施、夏季におけるクールビズ及び冬季におけるウォームビズの実施。
第一年度実績	市施設へ「緑のカーテン」の設置の推進。環境イベント「安曇野環境フェア」の開催。一斉定時退庁日（水曜日）の実施、夏季におけるクールビズ及び冬季におけるウォームビズの実施。ノーマイカー通勤の実施。
第二年度実績	市有施設への「緑のカーテン」設置推進。環境イベント「安曇野環境フェア」の開催。一斉定時退庁日（水曜日）の実施。クールビズ・ウォームビズの実施。ノーマイカー通勤の実施。
第三年度実績	市有施設への「緑のカーテン」設置推進。環境イベント「安曇野環境フェア」の実施（台風により中止）。一斉定時退庁日（水曜日）の実施。クールビズ・ウォームビズの実施。ノーマイカー通勤ウィークの実施。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み		
その他		